

【議事】定5

(1) 米国航空宇宙局(NASA)の2008会計年度予算案の概要について

文科省の坂口国際協力企画官が資料6-1(NASAの2008年度予算)を説明したあと、多少の質疑応答があった。

青江: 去年は宇宙探査が増額し、その一番のしわ寄せを宇宙科学が受けたのであるが、今年の予算はどうであったのか。

文科省 坂口: 2008年度予算のうち、ISS関連は各極の活動に応じた予算を確保している。探査の予算については、項目編成が変わったこともあるが、少し減ったことに驚いている。

青江: それは移っただけの話であろう。

文科省 坂口: 探査のところをそう見せるという行為さえ驚きである。

松尾: 今の質問に対する答えは、前とそんなに変わっていないと云うことか。

青江: ただ、科学については配慮したと云うことであろう。やろうとしていることは変わらない。

(2) 「きぼう」組立のための長期滞在宇宙飛行士の決定について

JAXAの柳川有人宇宙技術部長が資料6-2(「きぼう」組立て長期滞在宇宙飛行士)を説明したあと、短いやり取りがあった。

松尾: JAXAの役割とはどんなことか。

JAXA 柳川: ISSの搭乗には短期と長期があり、若田は長期のメンバーとして選ばれている。MCOFという多極間の搭乗員の選定ボードにJAXAが提案し、そこで技量、経験、語学力などが足りているかを評価をし、協議の結果決定した。

松尾: 実際に迫ってきたら、また詳しいお話をお願いします。